

価格改定\第3弾/値下げの真意は？ 社長に聞いてみた【久世福商店】

株式会社サンクゼール

株式会社サンクゼールは2024年2月15日（木）より、久世福商店第3弾の値下げを実施いたします。

価格改定に関して、社長のインタビュー記事を公開いたしました。



「久世福商店」がまた値下げ！？

—12月から始まり、3度目の値下げですね。お客さまからはお喜びの声と共に「こんなに値下げをしまして大丈夫？」というお声も届いています。

久世良太社長（以下、良太さん）：色々なご意見を頂いていますが、どのような局面でも、お客さまや仕入先さま、私たちの事業に関わる全ての方に喜んで頂くことのできる商いを行うことを何よりも大切にしています。

食料品価格が高騰する中で家庭の所得は変わらないどころか、目減りしているお客さまも多くいらっしゃいます。お客さまのお声から、お客さまのお役に立てているのではないかと感じています。

—そんな事があったのですね。

良太さん：はい。日本の食文化を守り育てるブランドである事が久世福商店の存在意義です。かと言って、仕入先さまの利益を優先しすぎること、お客さまにご負担をおかけしたり、私たちの利益を大きく削ったりすることでは長続きしません。お客さま、仕入先さま、そして私たちが適正な利益を享受し合うことが大切です。

—お客さまから久世福の商品は「高い」といったお声を頂く事も多かったように思います。

良太さん：そのようなお声があることは承知していますが、安売りはしません。反対に、価値を水増しするような値付けも行いません。品質に見合った価格で販売します。

3度の値下げに込めた想い



—今回の3回の値下げの対象商品のほとんどは、仕入先さまからの仕入れ品ではなく、主に私たちが企画、製造している自社の製造商品です。本当においしさは全く変わらず値下げすることができましたよね。

良太さん：そうですね。おいしい物を食べる時間は、気持ちが緩み、心が満たされる時間であると思います。私自身、どんなに忙しくても、忙しい時こそ、家族で食卓を囲む時間を大切にしています。食料品価格が高騰しご家庭の負担が大きくなる中でも、おいしい物を食べて頂きたい。そんな思いがあります。

久世福商店の中でも、私たちの自社製造商品は、ごはんのお供、パンのお供、ドレッシング、テーブルソースといった日常の食に寄り添った商品群です。自社で製造しているのは、毎日の食卓に欠かせない和の定番商品です。原材料価格が高騰し、値上げをせざるを得ない状況にありましたが、製造工程を見直すことで、おいしさや品質はそのままで価格を下げる事が出来ました。

—お客さまにもより身近に私たちの商品を感じて頂けるのではないかと思います。

良太さん：2022年の9月以降、原材料価格の高騰を商品価格に転嫁してきましたが、約1年をかけて原材料や製造工程見直しを行ってきました。その成果をようやく、お客さまに還元できるようになりました。長引くインフレでそれぞれに大変な思いをしていた中で、今回はお客さまにご負担をかけすぎってしまったと反省しています。

—お客さまやパートナーの方に喜んで頂けるように、心がけていることはありますか？

良太さん：パートナーの皆さまは、人生の大切な時間をサンクゼールに費やしてくれています。お客さまや仕入先さまに喜んで頂く事ができるからこそ、事業は成長し、長期に持続可能になると考えています。6年前に社長に就任した時、サンクゼールに生涯をかけることをパートナーの皆さまに誓いました、その思いは今も変わりません。

今回値下げした日常使いできる商品も、仕入先さまから取り寄せた特別な逸品も楽しんで頂けましたら嬉しいです。

プロフィール



株式会社サンクゼール
代表取締役社長 久世良太

2005年に株式会社サンクゼールに入社。2018年に創業者である現会長から、代表取締役社長のバトンを引き継ぐ。お客さまの目線に立ち商いを行うこと。お客さま、パートナー、仕入先さま等当社の事業活動に関わる全ての方が「愛と喜び」を享受できる事業を行うことを大切にしている。

【インタビュアー】

株式会社サンクゼール
経営企画室コーポレートコミュニケーションチーム 中村優希

2017年に株式会社サンクゼールに新卒で入社。久世福商店の店舗での販売員、店長を経て、マーケティング部門でファンコミュニティの運用を担当。お客さまのお声の近くで、久世福商店の事業に参加。
2024年2月より、コーポレートコミュニケーションチームの一員として、会社やブランドの魅力を沢山の方に知って頂くための活動を開始。